

兵庫の林業

2017. 4 No. 280



もくじ

就任のご挨拶	1
平成29年度	
林務課予算の概要	3
治山課予算の概要	5
鳥獣対策課予算の概要	6
豊かな森づくり課予算の概要	7
県立森林大学校開校記念式典を開催	9
狩猟免許試験のご案内	11
技能講習会等のご案内	11
六甲山の治山・森づくりシンポジウムの開催	12
兵庫の巨樹・巨木(2)	(裏表紙)
題字	兵庫県知事 井戸敏三氏

表紙の写真

「兵庫県立森林大学校の開校式・入学式開催」

4月13日、森林大学校の開校式・入学式が開催され、県内外から次代の森林林業の担い手となる若者17名が第1期生として入学しました。内訳は、新卒者11名、既卒者6名、女性1名、県外者4名と幅広い年齢層、出身の学生が集まりました。

学生を代表し、地元、県立山崎高等学校出身の長田伊織さんが「森林林業の専門人材として活力ある元気な兵庫を担えるよう、2年間で様々な経験や出会いを通じて成長したい。」と力強く宣言しました。

林務課長就任のご挨拶

小野山 直樹



このたび、林務課長を拝命しました、小野山でございます。平素から、林業の振興と木材の利用促進など、林務課所管業務の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

兵庫県において4月13日に兵庫県立森林大学が開校し、次代の森林林業を担う新たな人材の養成を開始する記念すべき年に林務課長を務めることとなり、身の引き締まる思いです。

さて、ひょうご農林水産ビジョン2025に基づき、川上から川中、川下までが一体となって、木材の需要拡大、製材工場等への支援、効率的かつ安定的な原木供給、人材の確保・育成を進め、建築からエネルギー利用まで森林資源のフル活用を図っていきます。この中で、平成29年度の新たな取り組みとしては、①木材の新たな需要拡大策として、「兵庫県林業会館」のCLT工法による建替えを支援し、防火地域での全国初の先駆的

モデルとします。そして、原木の供給から建築までの検証を行い、今まで木材が使われなかった新たな分野での県産木材利用の普及を図ります。②森林大学の運営を仮校舎で開始しながら、本校舎となる現兵庫県立染河内小学校の内装木質化等の施設整備を実施し、平成30年度の本格開校を目指します。

また、引き続き、県内製材工場の需要量と今後需要が拡大していく木質バイオマス発電用燃料の需要量を合わせた430km²/年の原木を、低コストで安定的に供給できる基盤整備として、低コスト原木供給団地の設定、新ひょうご林内路網1,000km整備プランの推進、高性能林業機械の導入促進に取組むとともに、県産木材の供給体制整備、担い手の確保・育成に取り組んでまいります。

さらに、兵庫県における「資源循環型林業」を現実のものとするため、人工林を計画的に伐採・利用し、収益が森林所有者に還元されることで林業生産サイクルを循環させるモデルエリアの設定を目指して取り組んで参りたいと思っております。

今年度は、森林環境税(仮称)の導入も議論されるなど、取組むべき課題も多い年となりますが、皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

豊かな森づくり課長

就任のご挨拶



平素は、本県の森づくり活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

豊かな森づくり課では、県民共通の財産である森林の機能回復を社会全体で進めるため、公的関与による森林管理の徹底と多様な担い手による森づくり活動の推進を基本方針とした「新ひょうごの森づくり」を進めています。

また、特に森林の持つ防災機能を強化するため、県民緑税を活用した「災害に強い森づくり」にも取り組んでいます。

新ひょうごの森づくりでは、①間伐を積極的に進めるための県・市町による支援強化、②地域の方々による里山林整備への支援、③森林ボランティアや企業等の協力を得た県民総参加の森づくり、

④森林整備の重要性の普及啓発などに取り組みます。

災害に強い森づくりでは、①豪雨時の立木等の流出を抑制する「緊急防災林整備」、②集落裏山の危険木伐採等を行う「里山防災林整備」、③高齢人工林を多様な樹種構成に誘導する「針葉樹林と広葉樹林の混交整備」、④人と野生動物との棲み分けを図る「野生動物共生林整備」、⑤地域の自主的な森林整備を進める「住民参画型森林整備」、⑥六甲山系で基岩の風化が進んでいる急斜面を対象とした間伐や土留工の設置を行う「都市山防災林整備」を進めます。

さらに、収益性の低い人工林を小面積で伐採し広葉樹を植栽する「広葉樹林化促進パイロット事業」も進めています。

これらの取組によりまして、森林が持つ水資源かん養、山地災害防止、地球温暖化防止、生物多様性保全などの様々な機能の維持・増進を図り、県民の皆様方が森林の恩恵を享受できるよう努力してまいります。

森林ボランティア活動

よこおみち森もりの会

代表 伊與田 安正

神戸市須磨区の六甲山の横尾山山系に繋がる須磨ニュータウンの周辺には森・緑地が沢山残っています。

平成21年にニュータウン住民が集まり、横尾山中腹の横尾道(遊歩道)の周辺の荒れた森・法面を整備して、いやしの森(場)にしようと会を立ち上げました。

現在、横尾と友が丘の2地区の計10ヶ所で年間約80日の活動を行っています、会員は賛助会員含め32名です。

クズやその他雑草が生い茂っている広い法面



よこお野路菊の丘

面で兵庫の県花「野路菊」を育てています。平成27年3月に「こうべ花の名所」に選定され、花の時期には花と景観を楽しみに、近隣のみならず遠方からも多くの人が訪れます。

また、荒れた雑木林の整備や竹



竹細工体験教室

ヤブの拡大阻止を行い、竹林の道として整備し、散策路として利用して

もらったり、竹林を利用し、地元の人達と協力して毎年子供達の為の竹細工教室を行っています。このほか、周辺の森で採取した各種ツツジの種から苗を育て、ツツジの森づくりを行ったり、稀少な植物や昆虫の保護育成をしたり、地元の人達と協働した椎茸の栽培(地域の人達には椎茸狩り体験)を行っています。

須磨区の森・川・海で活動している団体と連携した活動も行っています。

日々の活動を「よこおみち森もりの会のブログ」に載せていますのでご覧ください。
<http://nojigiku450.blog.fc2.com/>

豊かな森づくり課

森林保全室長就任のご挨拶

金子 哲朗



このたび、豊かな森づくり課森林保全室長を拝命しました、金子でございます。よろしくお願いたします。

平素は、保安林制度及び林地開発許可制度の適正な運用や森林病害虫被害対策の推進など、当室所管の業務にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。近年、全国各地で集中豪雨が多発しており、土砂崩れや洪水等の被害が懸念されています。このような中、「森を守る」森林保全の重要性はますます高まっております。

保安林制度については、治山事業実施予定箇所を中心に、公益的機能の高度な発揮が求められる森林の重点的な指定を推進するほか、原木の安定供給や間伐の推進を目的とした指定施業要件の変更について適切かつ速やかに事務を進めます。

平成29年度 林務課予算の概要

県内民有人工林約22万haのうち、伐採・利用が可能とされる46年生以上の森林が約15万haと69%を占めるなど、森林資源の成熟化が進んでいます。

このため、兵庫の林業振興は、木材としての活用とエネルギーとしての活用の2本柱で推進します。発電燃料などの需要にも的確に対応するため、林内路網整備や高性能林業機械の導入支援を行うとともに、県産材を利用した木造住宅の建設を促す特別融資も推進します。

一方、異常な降雨の発生が増加しており、県土の7割を占める森林では、持続可能な森林経営や、水源涵養、土砂流出防止などの公益的機能の維持に懸念が生じています。木材生産や森林整備の促進に加え、森林セラピーや野生鳥獣対策を含めて幅広く森林に関わる人材を育成するため、平成29年4月に県立森林大学校を開校します。

さらに、国のTPP関連農林水産業対策補正予算を活用して、地域材の競争力強化に向け、原木供給するための間伐、林内路網整備、木材加工流通施設整備を進めます。

凡例

【緊急】：森林林業緊急整備事業（県事業名）

Ⓢ：平成28年度県補正予算措置分

1 多面的機能の発揮に向けた森林整備

(1) 多様な森林の整備

人工林のうち、育成単層林については、気象災害等に配慮しつつ、間伐等を推進するとともに、地形や地質等により条件の悪い森林については、針広混交林化や天然林へと誘導する等、多様な森林の整備を図る。

地域森林計画策定事業 11,172千円
造林事業 942,000千円

【緊急】間伐 Ⓢ685,600千円の内数(TPP関連)
重要水源林機能高度化事業 22,000千円

(2) 施業集約化の促進

森林施業の集約化を促進するため、森林経営計画の作成や森林境界の明確化等を支援する。

森林整備地域活動支援事業 105,961千円

(3) 生産基盤の整備

(協)兵庫木材センターを含めた製材工場等に

必要な260千m³/年の原木に加え、木質バイオマス発電向けの燃料用として見込まれる170千m³/年を合わせた430千m³/年の原木を低コストで安定的に供給できる基盤を整備するため、森林施業の団地化、林内路網の整備、及び機械化などを支援する。

【緊急】林内路網整備

Ⓢ685,600千円の内数(TPP関連)

森林資源活用システム整備事業 100,494千円
県産木材利用促進特別融資事業

(高性能林業機械等導入資金) 100,000千円

【緊急】高性能林業機械等導入

Ⓢ685,600千円の内数(TPP関連)(再掲)



(4) 林業技術の普及

林業普及指導員による林業技術の普及指導活動や高性能林業機械等の林業技術研修、指導林家等・山村リーダー研修等を通じて、地域リーダーや後継者を育成する。また、市町村森林整備計画や森林経営計画の作成実行を技術面で市町を支援する「地域森林総合監理士（フォレストラー）」を育成する。

林業技術普及費 4,539千円

2 林業の担い手の育成

(1) 兵庫県立森林大学校の開校

森林経営から森林セラピーや獣害対策に至るまで、森林に関わる人材を幅広く育成するため、森林・林業の専門知識や技術を修得する関西発の専修学校として、県立森林大学校を開校する。

また、即戦力となる人材に対して給付金を交付する。

【新】兵庫県立森林大学校開設準備費 140,176千円

【新】緑の青年就業準備給付金 30,000千円

(2) 林業事業体の確保・育成

収益性の高い低コスト林業経営モデルの確立に

向け、林業事業体における経営者、森林施業プランナー、現場技能者の能力を高めるとともに、林業労働者の就労環境の改善、労働安全衛生の向上を図る。

林業三つ星経営体育成事業 3,406千円

林業労働力育成対策事業 1,148千円

(3) 森林組合の育成

森林組合の事業活動を強化し、中核的担い手として育成するため、利用事業の展開や経営改善など自主的な取り組みへの支援や、合併等の促進による経営基盤と専門家が行う役職員研修による執行体制の強化を図る。

森林組合等経営基盤強化対策事業 2,226千円

森林組合機能強化資金貸付金 400,000千円

(4) 林業・木材産業の経営基盤の強化

林業・木材産業事業体に対して、低利・無利子の資金を融通することにより、林業及び木材産業の健全な発展、木材生産及び流通の合理化の促進を図る。

林業・木材産業改善資金貸付金 150,000千円

林業振興資金利子補給事業 968千円

木材産業等高度化推進資金 600,040千円

特用林産振興事業 250千円

県産木材利用促進特別融資事業

(製材用原木の取扱に係る運転資金)

100,000千円(再掲)

3 県産木材の供給体制の整備と利用拡大

(1) 県産木材の供給体制の整備

品質向上や供給体制の確立に向けた木材加工流通施設の整備や普及活動等を行い、原木の安定供給及び利用体制の確立を図る。

【緊急】木材加工流通施設整備

Ⓢ685,600千円の内数(TPP関連)(再掲)

林業構造改善事業 77,000千円の内数

県産木材供給体制整備事業 500千円

(2) 県産木材の利用拡大

① 公共施設等の木造・木質化の推進

展示効果が見込める公共施設等の木造化、木質化を進めるほか、CLT(直交集成板)やTajimaTAPOS(高強度梁桁仕口)等の新たな木材利用技術を普及啓発する。

② 県産木材を使用した住宅の建設促進

長期固定で低利な融資制度(年利率0.8%)

による県産木材利用住宅の建設促進を図る。

県産木材利用木造住宅特別融資事業

TajimaTAPOS技術を利用した住宅への

融資額の拡充(H28~) 25,933,320千円

県産木材利用住宅建設促進事業 1,620千円

③ 県産木材の新たな用途開拓

内装材や仕切り家具など、従来、県産木材が使われていなかった分野での需要検討や製品開発を進め、リフォーム・リノベーション市場等における県産木材の利用促進を図る。

技術を活かした県産木材製品開発推進事業

4,765千円

④ 県産木材利用啓発活動の展開

県産木材を使用した木製学習机を提案するほか幼稚園・保育園等での「木育キャラバン」を実施する。また、「木の匠」登録制度の普及、及び住宅コンペによる優れた木造住宅の顕彰による工務店の県産木材利用意欲の喚起を図る。

暮らしの中に木材を取り入れる運動推進事業

1,450千円

〔うち 木製用品利用拡大 600千円

うち 木育キャラバン 850千円

森からまちへ木材利用促進事業 193千円

⑤ 木質バイオマスの利用促進

未利用間伐材等の収集機械、チップ加工施設、木質資源利用ボイラー施設導入のほか、未利用材を仕分け・ストックする山土場整備、購入資金等に対して支援する。

バイオマスヤード整備事業 3,600千円

林業構造改善事業 77,000千円の内数(再掲)

県産木材利用促進特別融資事業

(バイオマス燃料用木材の取扱に係る運転資金)

100,000千円(再掲)

⑥ CLT活用型先駆的モデル建築の推進

CLT工法の活用・普及による新たな木材需要の拡大を図るため、兵庫県林業会館の建替えを支援する。

【新】CLT活用型先駆的モデル建築物支援事業

40,000千円

平成29年度 林務課 主な事業 当初予算額
31,392,111千円(対前年度比113.3%)
+補正 32,077,711千円(対前年度比112.0%)

平成29年度 鳥獣対策課
(野生鳥獣対策関連) 予算の概要

野生動物被害防止総合対策の推進

地域の実状に応じた野生動物の個体数管理、被害管理、生息地管理を総合的・科学的かつ計画的に進める“ワイルドライフ・マネジメント”に取り組み、農林業や生活環境被害等の軽減を図り、人と野生動物との調和のとれた共存をめざす。

1 シカ・イノシシ対策の推進

農林業被害の軽減と被害地域拡大の防止を図るため、平成29年度についてもシカ4万5千頭、イノシシ1万5千頭の捕獲目標を継続し、従来の市町による有害捕獲に加え、県が直接捕獲を行う指定管理鳥獣捕獲等事業により捕獲を促進するとともに、獣害防護柵の設置等を進める。

- (1) シカ捕獲の拡大 **444,763千円**
 - ・シカ有害捕獲促進支援事業 55,013千円
 - ・シカ有害捕獲専任班支援事業 15,000千円
 - ・狩猟期シカ捕獲拡大事業 141,250千円
 - ・市町による有害鳥獣捕獲 197,000千円
 - ・ストップ・ザ・獣害 23,000千円
 - ・指定管理鳥獣捕獲等事業(シカ) 13,500千円
- (2) シカの有効活用と適正処理 **57,565千円**

捕獲したシカを食用やペットフードなど地域資源として有効活用を図るため、シカ肉処理加工処理施設の整備、搬入・回収への支援を行うとともに、活用できない個体の適正処理を推進する。

 - ・シカ丸ごと1頭活用大作戦【拡充】 7,750千円
 - ・移動式解体車等の導入支援 3,095千円
 - ・シカ肉処理加工施設の整備支援 23,360千円
 - ・減容化施設の整備支援【新規】 23,360千円



【シカ肉料理等PRイベント「文鹿祭」(相楽園)】

- (3) イノシシ対策の強化 **8,757千円**

市街地に出没し、生活被害が深刻な地域において、加害イノシシの捕獲活動等の支援を行う。また、生息密度の高い六甲山、淡路島で生息調査を実施する。

 - ・イノシシ生活被害防止対策事業 2,757千円
 - ・指定管理鳥獣捕獲等事業(イノシシ) 5,500千円

- (4) 防護柵の設置等支援 **559,257千円**
 - ・鳥獣被害防止総合対策事業(ハード) 509,257千円
 - ・野生動物防護柵集落連携設置事業 50,000千円



【防護柵(多可町)】

- 2 その他の主な鳥獣対策の推進 **110,738千円**

昨年、集落周辺への出没数が増加し、人身事故が発生したツキノワグマの出没被害対策やカワウの被害対策の強化を図る。

 - ・ツキノワグマ被害対策事業【拡充】 10,965千円
 - ・サル出没総合対策事業 1,940千円
 - ・特定外来生物被害対策事業 96,995千円
 - ・カワウ総合対策事業【拡充】 838千円

- 3 狩猟後継者の確保・育成 **14,836千円**

狩猟者の高齢化により捕獲従事者が不足しているため、狩猟者の確保、有害鳥獣捕獲に携わる人材の育成に取り組む。また、狩猟者の捕獲技術力向上を目的とした狩猟者育成センター(射撃場、研修棟等)整備に向けた検討を実施する。

 - ・有害鳥獣捕獲狩猟者育成プロジェクト 12,196千円
 - ・狩猟後継者確保育成事業 640千円
 - ・狩猟技能向上促進事業【拡充】 1,000千円
 - ・狩猟者育成センター(仮称)整備の検討 1,000千円



【狩猟マスター育成スクール(福岡町)】

平成29年度 鳥獣対策課予算額
・野生動物保護管理費 1,195,416千円
(対前年度比 104.6%)

※イラスト(シカ):兵庫県森林動物研究センター提供

平成29年度 治山課
予算の概要

県下各地で頻発する豪雨等による山地災害に備え、治山事業に積極的に取り組み、山地に起因する災害から県民の生命・財産を守ります。

特に、平成26年豪雨災害を教訓に拡充した「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画」に基づき、治山ダム等の整備を強力に進めるほか、地すべり防止対策、山腹崩壊防止対策、森林整備等を推進します。また、山地災害危険地区の周知、山地防災教室の開催、住民の防災活動への支援など、県民の避難行動に役立つ情報提供や防災知識の普及啓発等を通じて、地域の防災力の向上を図り、総合的な山地防災・減災対策を推進します。



平成26年8月豪雨災害の復旧状況(丹波市)

林道事業については、「新ひょうご林内路網1,000km整備プラン」に基づき、森林整備や木材生産の基盤となる森林基幹道及び森林管理道、林業専用道の整備を推進します。また、効率的な木材搬出等を推進するため、基幹道沿線において路網拠点施設を整備します。



森林基幹道「千ヶ峰・三国岳線」路網拠点林道の整備状況(多可町)

1 治山対策の推進

(1) 第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画(平成26~30年度)の着実な推進

計画区分	全体計画(H26~30)		H26	H27	H28	H29,4.1現在		
	当初	拡充後				H29	H30	
①治山ダムの重点整備	480	580	133	123	114	2	112	98
人家等保全対策	350	350	71	71	72	2	70	66
流木・土砂流出防止対策	130	194	26	52	42		42	32
平成26年8月豪雨災害対策	-	36	36	0	0		0	0
②災害に強い森づくり								
流木・土砂流出防止対策	88	165	39	69	19		19	19

- (2) 山地災害危険地区の見直し及び施設の機能強化

平成28年度改正の国調査要領に基づき、追加調査を継続実施するとともに、施設毎の個別施設計画を策定し、機能強化対策を計画的に進める。
- (3) 県産木材を使用した型枠用合板への転換

平成29年度から、治山ダム工事については、木製型枠パネルに替えて、汎用性が高いコンクリート型枠用合板の転換を進め、治山林道工事はもと

より、土木工事や建築工事における県産木材の利用促進を図る。

- (4) 「新ひょうごの森づくり」第2期計画の推進

森林の過密化により林床植生が消滅し、表土流出による等、機能が低下した保安林を対象に、本数調整伐等の森林整備を推進する。

【治山事業費】

公共治山事業費	3,953,882千円
治山施設災害復旧事業費	10,000千円
県単独治山事業費	262,000千円
県単独緊急防災事業費	1,280,000千円
合計	5,505,882千円

2 林道整備の促進

- (1) 県営林道の開設の促進

林内路網の骨格となる森林基幹道2路線(須留ヶ峰線、千ヶ峰・三国岳線)、森林管理道1路線(前地・カンカケ線)の開設を計画的に進める。
- (2) 県産木材安定供給のための路網拠点整備

林道から森林作業道等を接続する支線林道や高性能林業機械が効率的に作業できる作業用地を設置する路網拠点を4箇所を整備する。
- (3) 県代行制度を活用した林業専用道の整備

効果的な林内路網の形成を促進するため、過疎・振興山村地域における林業専用道の整備を推進する。(神河町で計画策定)
- (4) 林道の機能強化

車両の安全な通行を確保するため、巡視や側溝清掃等の維持管理や法面保護工等の改良工事を実施するほか、個別施設計画(H28策定済)に基づく施設の保全整備を推進する。
- (5) 市町営林道への支援

災害発生時の迅速な対応や林道技術者の育成を目指し、市町職員を対象とした林道施設災害復旧事業基礎研修を開催する。

【林道事業費】

公共林道事業費	699,703千円
公共林道助成費	1,610千円
公共林道事業費(管理費)	54,603千円
林道施設災害復旧事業費	140,000千円
県単独林道事業費	340,400千円
合計	1,236,316千円

3 里山防災林整備(災害に強い森づくり)

第3期計画として集落裏山にある里山林の山地防災機能向上のため、危険木除去等の森林整備や丸太柵工等の簡易防災施設の整備を実施する。(予算額等は豊かな森づくり課予算の概要参照)

平成29年度 治山課 主な事業 当初予算額
6,742,198千円(対前年度比96.5%)

平成29年度 豊かな森づくり課
予算の概要

県民共通の財産である森林の機能回復を社会全体で進めるため、平成14年度から「新ひょうごの森づくり」を推進しています。

また、特に森林の持つ防災機能強化を早期・確実に進めるために「県民緑税」を活用した「災害に強い森づくり」にも取り組んでいきます。

さらに、森林の保全・管理、森林病虫害被害対策にも取り組み、県民の安全・安心な暮らしを守る「生活を豊かにする森づくり」を促進します。

1 新ひょうごの森づくり・第2期対策の推進

森林の持つ公益的機能の高度発揮と、本来の経済林としての再生を進めるため、「新ひょうごの森づくり・第1期対策（平成14～23年）」をさらに継続・発展させ、「公的関与による森林管理の徹底」「多様な担い手による森づくり活動の推進」を基本方針とする第2期対策（平成24～33年）を推進しています。

(1) 森林管理100%作戦

間伐が必要な60年生以下のスギ・ヒノキ人工林について、国の公共造林事業による間伐及び作業道開設の補助残額を県・市町が連携して公的負担を行い、森林管理の徹底を図る。

- ・「森林管理100%作戦」推進事業 86,574千円
[間伐：6,200ha 作業道：70km]
- ・暮らしを支える森づくり事業 22,550千円

(2) 里山林の再生

地域住民等による里山林整備活動及び必要な資機材の整備を支援することにより健全な森林への誘導を図る。

- ・住民参画型里山林再生事業[280ha] 8,925千円

(3) 県民総参加の森づくり推進

県民に森林への関心や保全の大切さを普及し、さらに森林ボランティアの育成や各ボランティア団体における次代のリーダーを養成することにより、県民総参加の森づくりを推進する。

- ・「ひょうご森のまつり」の開催 1,000千円
- ・森林ボランティア・リーダー養成講座の開催 776千円

(4) 企業の森づくりの推進

企業・団体等が社会貢献活動の一環として行う森林保全活動をさらに推進するため、(公社)兵

庫県緑化推進協会の指導體制を強化し、多様な担い手による森づくりを推進する。

- ・企業・団体等の年間活動計画等の策定に係る技術者派遣、研修会の開催等 1,536千円

(5) 森林への理解と関心を高める普及啓発

森の大切さや森林整備の重要性について、子どもから大人まで広く県民の理解と関心を高め、森づくり活動へ誘うため、森づくり活動などを体験する参加型イベントの実施や森林環境教育を進めるとともに、地元と都市住民の交流の場、親子・家族が身近に自然と触れあえる場を提供する。

- ・三木山森林公園管理運営事業 104,613千円
- ・ふるさとの森公園管理運営事業 [6公園] 169,058千円

2 県有環境林の管理

乱開発の抑制等に貢献してきた先行取得用地等について、森林の公益的機能に着目し、県有環境林として適切な管理を行う。

- ・県有環境林管理事業 45,047千円

3 災害に強い森づくり・第3期対策の推進

第3期対策では、第2期対策の枠組は継続する一方、「緊急防災林整備（溪流対策）」の対象箇所の拡充や「都市山防災林整備」など新たに加えるほか、面積要件を緩和するなどにより地域の実情に応じた事業を展開する。併せて、平成24年度からは、国の公共造林事業等を活用した「広葉樹林化促進パイロット事業」を推進している。

(1) 県民緑税充当事業 第2期（H23～27年度）、第3期対策（H28～32年度）

- ・緊急防災林整備 627,947千円
[斜面对策：900ha、溪流対策：調査箇所19箇所、森林整備11箇所]



土留工の設置



簡易流木止め施設

- ・里山防災林整備 508,000千円
[基本計画調査200ha、整備200ha]
- ・針葉樹林と広葉樹林の混交整備 336,813千円
[計画調査設計200ha、作業道開設200ha、広

- 葉樹植栽310ha]
- ・野生動物共生林整備 317,707千円
[基本計画調査380ha、森林整備380ha]
- ・住民参画型森林整備 25,280千円
[森林整備20ha]
- ・都市山防災林整備【新規】 60,000千円
[基本計画調査40ha、森林整備40ha]

(2) 公共造林事業等活用事業（H24～33年度）

奥地林など収益性が低く伐採が進まない高齢人工林を小面積で伐採し、跡地に広葉樹を植栽することに加え、平成29年度からは、下刈り、防護柵補修、補植を拡充して植栽地の維持管理を行い、山地災害を防止するとともに野生動物の生息環境に適した広葉樹林へ誘導する。

- ・広葉樹林化促進パイロット事業 12,518千円
[更新伐20ha、作業道開設2km等]

※造林事業の国補助残を県・市町が連携し公的負担

4 森林の保全・管理

(1) 保安林の指導等

治山事業施行予定地などの保安林指定を進めるとともに、公益的機能の維持・増進に資する保安林の森林施業の確保、標識設置や伐採等の行為制限により保安林の適正な管理、保全を図る。

- ・保安林等整備管理費 10,049千円

(2) 無秩序な開発行為の規制

森林が持つ公益的機能を確保するため、地域森林計画対象森林における、無秩序な開発行為を規制し、森林の適正な利用を図る。

- ・林地開発許可制度実施費 1,990千円

(3) 森林の保全

保安林や林野火災の危険性の高い森林において、無許可の開発行為等の早期発見、林野火災の予防啓発等を目的として「森づくり指導巡視事務嘱託員」を県民局・県民センターに配置し、森林の保全と管理を行う。



水源かん養保安林（南あわじ市）



森づくり指導巡視事務嘱託員活動（入山者への火気取扱注意喚起）

- ・新ひょうごの森指導巡視事業 8,624千円

5 森林病虫害被害対策

(1) 松くい虫被害対策

① 保安林等の公益的機能の高い松林や地域経済上重要な松林を防除区域と定め、特別防除、地上散布、樹幹注入等の予防対策と、伐倒駆除や造林事業（衛生伐）の駆除対策を組み合わせ、松林機能の保全を図る。また、被害を受けにくい松林を造成するため、抵抗性マツ『ひょうご元気松』10万本植栽事業を継続実施する。

② 環境へ配慮した防除を推進するため、駆除対策については特別伐倒駆除（破砕）及び天敵利用型伐倒駆除（天敵微生物ボーベリア菌利用）の実施拡大を行う。

○特別伐倒駆除：農薬の軽減及び被害木再利用のため、被害木を伐採後に破砕・焼却するべく、搬出可能な高度公益機能森林において実施する。

○天敵利用型伐倒駆除：化学農薬の軽減を図るため、被害木が集積可能な高度公益機能森林で実施する。

③ 景観の保全が必要な箇所において過年度枯れ被害木を伐倒処理する。

- ・予防対策（特別防除、地上散布、樹幹注入） 30,093千円

- ・駆除対策（伐倒駆除、特別伐倒駆除） 49,066千円
- ・ひょうご元気松10万本植栽事業 1,080千円
- ・森林病虫害防除予防推進費（薬剤防除自然環境等影響調査ほか） 2,149千円
- ・県単独松くい虫被害等景観対策事業 10,554千円

(2) ナラ枯れ対策

県南東部を中心に被害が増加しているナラ枯れについて、被害拡大防止に向け、発生先端地の市町や良好な環境を有する森林を重点対策区域に指定し、被害木の伐採と薬剤処理等を行う「ナラ枯れ防止作戦」を展開する。

- ・その他法定病虫害駆除事業（ナラ枯れ被害対策） 19,772千円
（伐倒駆除（くん蒸）、噴霧剤処理（粘着剤塗布）、樹幹注入、粘着シート）

平成29年度 豊かな森づくり課 主な事業 当初予算額
15,251,691千円（対前年度比98.3%）

県立森林大学校 開校記念式典を開催

兵庫県立森林大学校

1. 開校記念式典の開催

次代の林業の担い手の養成や森林を幅広く学ぶ人材を育成する機関として、このたび、専修学校「県立森林大学校」が開校しました。4月13日には記念式典が山崎文化会館（宍粟市）に於いて開催され、県知事や、林野庁長官をはじめ、多数のご来賓を迎え、開校をお祝いいただきました。

開校式では、企業版ふるさと納税による「森林の恵み活用プロジェクト（森林大学の機能向上）」に対して寄附をいただいた企業への感謝状の贈呈が行われました。また、森林大学校の運営に関する連携協定書（県、宍粟市、県内森林林業関係団体）が披露されました。（いずれも、詳細は次頁に記載）

入学式では、第1期生17名が登壇し、「誓いの言葉」を長田伊織さんが代表して元気よく述べました。

2. 関連行事

また、当日は、地元応援チアバンドによるオープニング歓迎ライブの催しや、式典終了後は、記念イベントとして、「森林セラピー

体験会」などが開催され、森林大学校の開校を盛り上げていただきました。



地元応援バンド
バンブーリリー歓迎ライブ



森林セラピー体験会

3. 森林大学校の主な講師

森林大学校の名誉校長には、元林野庁長官の皆川芳嗣（みながわ よしつぐ）氏に、また、森林セラピーなど特定の活動を通じて大学校をPRいただく特任大使には、

医師で登山家の今井通子（いまい みちこ）氏にご就任いただきました。

森林教育専門員など県の林学職員を専任教員として配置するとともに、森林林業分野でご活躍されている方を外部講師として招聘します。現在、ご承諾いただいている主な講師は下表のとおりです。



皆川 芳嗣 名誉校長

四年福島県生まれ、東京大学経済学部卒業。四年農林水産省入省。兵庫県農林水産部農政企画室長、林野庁長官などを経て、翌年に農林水産事務次官（15年退官）、その後農林水産省顧問などを経て、16年6月より（株）農林中金総合研究所理事就任現在に至る。



今井 通子 特任大使

四年東京生まれ。東京女子医科大学卒業、医学博士。四年世界初女性パーティーマッターホルン北壁登攀に成功。69年アイガー北壁、71年グランドジョラス北壁と、女性で世界初の欧州三大北壁完登者となる。医学と登山活動等で得た知識や体験をもとに講演・執筆活動を行なっている。13か国30名の学者、科学者を率いる国際自然・森林医学会（INZOMA）会長。

「企業版ふるさと納税」を活用して 森林大学校を応援しよう

平成28年度税制改正において、「企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）」が創設されました。この制度を活用して、県外に本社がある企業からの寄附によって、森林大学校の機能向上を図る「森林の恵み活用プロジェクト」を実施しています。当プロジェクトは28年度に国の認定を受け、森林セラピーやジビエ料理など森林に関することを広く学べるよう機能の充実に努めます。

寄附については、現行の損金算入措置（3割）に加えて、法人住民税等に寄附額の3割に相当する額の税額控除の特例措置がなされます。

寄附をいただいた企業の皆様

- (株)日本海水
- (株)関電エネルギーソリューション
- 日本土地山林(株)
- 寄附により導入した品物
- 森林セラピー用ストレス測定器
- AI機能付き鹿対応大量捕獲柵

県・市・林業関係18団体とスクラム 運営に関する連携協定を締結

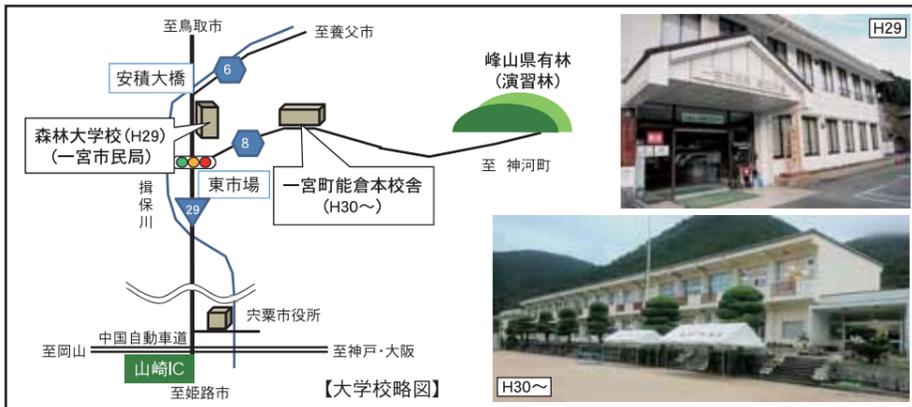
開校にあたり「県立森林大学校の運営に関する連携協定」を本年4月に締結しました。県が森林大学校の設置・運営を行い、宍粟市が「多自然地域まるごとキャンパス」として、地域の学習環境の整備や、居住環境の向上などの学生の受入、地域住民との交流促進の取組を進めます。森林大学校で行う教育・研修については、県内の森林林業関係18団体が実習や学外就業体験の受入、講師派遣に協力するとともに、学生の就業先確保等へ積極的な取組を進め、次代の森林林業の担い手を養成します。



入学生と名誉校長や林野庁長官等による記念撮影

森林大学校の概要

- 所在地
宍粟市一宮町安積御番地3（市民局庁舎の一部を借用、30年度に同町能倉へ移転）
- 開設する学科
専攻科（修業年限2年、学年定員20名）
研修科（短期の研修）

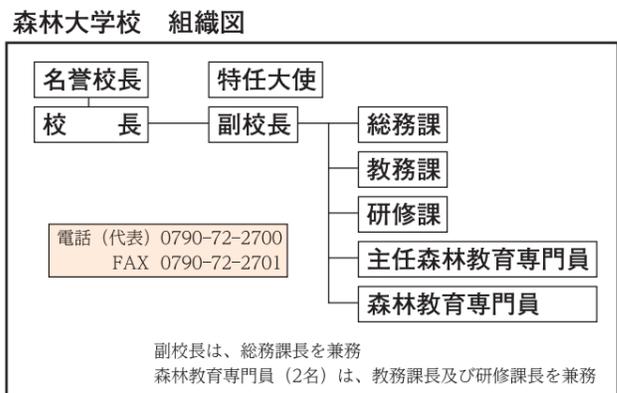


主な外部講師（五十音順）

荒木 繁幸	(一社) 関西地質調査業協会理事長	竹島 喜芳	中部大学国際GISセンター准教授
一樹 洋彦	森林インストラクター兵庫会長	多田 学	登録ランドスケープアーキテクト
江口 善章	兵庫県立大学環境人間学部教授	寺澤 健治	住友林業(株)山林部グループマネージャー
大住 克博	鳥取大学農学部教授	鳥越 茂	(一社) 日本樹木医会兵庫県支部長
金澤 洋一	神戸大学名誉教授	林 和男	愛媛大学名誉教授
小島 正樹	NPO法人森と地域ゼロエミッションサポート倶楽部事務局長	播戸 忠玄	林業・木材製造業労働災害防止協会 安全管理指導専門家
小館 誓治	県立人と自然の博物館研究員(兵庫県立大学助教)	深谷 幸三	神戸山手中学校高等学校講師
小林 温	兵庫県指導林家会会長	古川 澄男	元姫路市立中学校長
境 亮典	一級造園施工管理技士	前田 美智代	元マリスタ国際学校教員
酒井 宏一	NPO法人町なみ屋なみ研究所代表	山下 広行	NPO法人ひょうご森の倶楽部会長
吹田 修身	(一社) 兵庫県猟友会会長	山本 福寿	鳥取大学乾燥地研究センター特任教授
瀬上 清貴	NPO法人森林セラピーソサエティ理事長	横山 真弓	森林動物研究センター研究部長(兵庫県立大学教授)
高原 勉	兵庫県司法書士会		

組織等

県（林務課所管）の地方機関として位置づけ



4 森林大学校ロゴマーク

大建工業(株)からデザインに関する権限を譲渡いただき、下記のとおり決定しました。



(県立森林大学校長 築山佳永)

平成29年度狩猟免許試験のご案内

兵庫県では、今年度も次のとおり狩猟免許試験を実施します。多くの方が免許を取得されますよう、ご案内いたします。

【狩猟免許とは】

狩猟期間中にシカやイノシシなどの狩猟鳥獣を捕獲するのに必要な資格です。

また、県や市町の許可を受けて実施する有害鳥獣捕獲にも原則的に必要です。

【狩猟の楽しみと公益性】

狩猟は、ハンティングや料理を楽しむという魅力のほか、農林業被害を与える野生動物の生息頭数を適正に管理するという公益性も兼ね備えています。



【試験の日程と場所】

1回目

○申込期間

6月5日(月)～6月23日(金)

○試験日及び場所

7月22日(土) 姫路

7月29日(土) 養父・洲本

※わな猟試験のみ実施。

8月28日(月) 神戸

2回目

○申込期間

7月24日(月)～8月10日(木)

○試験日及び場所

9月6日(水) 姫路

9月16日(土) 神戸

9月30日(土) 三田

【免許の種類】

- ・ 網猟(主に鳥類)
- ・ わな猟(獣類のみ)
- ・ 第一種銃猟(装薬銃、空気銃)
- ・ 第二種銃猟(空気銃)



初心者講習会のご案内

(一社)兵庫県猟友会主催で、試験前の6月3日(土)10日(土)、17日(土)24日(土)8月5日(土)、19日(土)

これから狩猟免許試験を受験される方を対象にした、知識技能に関する初心者講習会が実施される予定です。

【お問い合わせ先】

○試験に関すること

各県民局・県民センター・森林課又は農政環境部鳥獣対策課

(〇七八一三六一一三四六三)

○初心者講習会に関すること

(一社)兵庫県猟友会

(〇七八一三六一一八二七)



S42市ヶ原の大規模崩壊

「六甲山の治山・森づくりシンポジウム」の開催について

昭和42年に神戸市を中心に観測史上最大級の時間雨量を記録し、六甲山に大規模な災害をもたらした豪雨災害から50年という節目を迎えるにあたり、「六甲山の治山・森づくりシンポジウム」を開催します。

○開催日時／平成29年5月13日

(土) 13:00開会・16:30閉会

○開催場所／兵庫県公館大会議室

(神戸市中央区下山手通4-4-1)

○定員／300名(定員に達した場合)

場合は参加をお断りする場合があります。

○主催／昭和42年六甲山系豪雨災害50年行事実行委員会

○問い合わせ先／兵庫県農政環境部

農林水産局治山課計画班

TEL:078-3623471

chisanka@pref.hyogo.lg.jp

新緑の氷ノ山林道の自然観察ウォークに参加しませんか



対象：県内にお住まいの方で、8:00林業会館前(元町駅から徒歩5分)集合できる方
 日時：平成29年6月1日(木) 定員：36名(定員を超えた場合は抽選)
 参加費用：2,000円(バス代、昼弁当代、資料代、保険料等)
 申込方法：往復はがきに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入1通で2名まで申込可(2名の必要事項記載の事、重複不可)
 申込締切：平成29年5月9日(火) 必着



問い合わせ申込先：(一社)兵庫県治山林道協会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18
 TEL:078-371-0210 FAX:078-371-6632

兵庫県治山林道協会 検索



550XP-JP/XPG-JP

レッドウッド・デザイン賞2013
 パスト・オブ・パスト受賞製品



■排気量：50.1cm³
 ■出力：2.8KW
 ■質量：4.9/5.1kg(XPG)

AutoTune

本当の価値が分かる方へ!

安全と作業効率を追求し続けるハスクバーナは、プロが認めるチェンソーの最高峰です。革新的な技術を融合し、これまで以上のパワーでさらなる軽量化に成功した500シリーズをぜひお試しください。

愛林興業株式会社

本社 姫路市飾磨区恵美酒294-3 TEL(079)234-8181番代
 神崎店 神崎郡神河町吉富1409-2 TEL(0790)32-0570番
 但馬店 養父市上野1357 TEL(079)664-2101番

“治山・林道測量”



は経験と実績のある

株式会社 石原測量コンサルタント

国土交通省登録第24891号
 県知事許可(般-27)第461481号

本社 兵庫県六栗市山崎町 船元250-1
 Tel(0790)63-1377
 Fax(0790)63-1398
 営業所 兵庫県姫路市夢前町苜野1078-3
 Tel(079)336-1418

平成29年度 技能講習会等実施計画

区分	名称	実施年月日	場所
技能講習	木材加工用機械作業主任者	29年 7月13日 ～ 14日	姫路労働会館 (姫路市北条)
	はい作業主任者	29年 8月 9日 ～ 10日	姫路労働会館 (姫路市北条)
特別教育	伐木等(大径木等) 「チェンソー作業 従事者特別教育」	29年 5月18日 ～ 19日	中はりま森林組合 会議室 (神崎郡神河町)
		29年 7月27日 ～ 28日	
		29年10月19日 ～ 20日	
		29年12月14日 ～ 15日	
特別教育	車両系木材伐出機械等 運転業務	<学科> 29年 9月 7日 ～ 8日	中はりま森林組合 会議室 (神崎郡神河町)
	3教育一括講習 (伐木等機械 走行集材機械 簡易架線集材装置(架線集材機械))	<実技> 29年 9月13日 ～ 15日	中はりま森林組合 製材工場構内 (神崎郡神河町)
安全衛生教育	刈払機取扱作業 安全衛生教育	29年 6月 9日	中はりま森林組合 会議室 (神崎郡神河町)
		29年 9月29日	
		29年11月17日	三木山森林公園 (三木市福井)

※講習会のご案内は開催日1ヶ月前を目処にWEBサイト上などで行います。
 HPアドレス：http://www1.odn.ne.jp/hyogomokuren/rinsaihou/
 ※開催予定の講習会は、都合により日程等を変更する場合があります。

平成29年度の技能講習会等のご案内

林業・木材製造業労働災害防止協会 兵庫県支部

1 はじめに

当支部では、林業・木材製造業の労働災害防止のため、労働安全衛生法に定められている林業・木材製造業の作業の従事に必要な技能講習会等を次のとおり開催します。関係する方々の受講を是非お願いします。

3 お問い合わせ先・申込先

〒650-0012
 神戸市中央区北長狭通5-5-18
 林業・木材製造業労働災害防止協会 兵庫県支部
 (兵庫県木材業協同組合連合会内)
 ☎078-371-0607

2 実施計画

安全はプロへの第一歩  **英語・中国語コース開催中!**

刈払機 小型移動式クレーン 玉掛け

〒675-1307 小野市菅田町南野739-14

キャタピラー教習所 0794-67-2211



私たちは、緑を育て、緑を守っています。



〒650-0012
神戸市中央区北長狭通 5-5-18
兵庫県森林組合連合会

TEL : 078-341-5082
FAX : 078-341-6936
E-mail : hyogomori@hyogomori.jp
HP : http://www.hyogomori.jp/

株式会社 グリーン興産

みどりの集い.com あなたと共に未来へ続く森林づくり

士・木・緑・そして人
とりもどそう 人にやさしい環境

〒671-4141 兵庫県宍粟市一宮町東河内1003
Tel 0790(72)1553 Fax 0790(72)2327
URL http://www.greenkousan.co.jp
E-mail: info@greenkousan.co.jp

緑を育み水をつくる水源林造成事業



法令改正により、旧・国立研究開発法人森林総合研究所は、平成29年4月1日から国立研究開発法人森林研究・整備機構に名称変更しました。

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林整備センター近畿北陸整備局

神戸水源林整備事務所 TEL(078)371-2411
FAX(078)371-2413
兵庫県水源林造林協議会 TEL(078)371-2446
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号

住化グリーンの林業薬剤

松枯れ予防剤 ヤシマモリエートマイクロカプセル マツグリーン液剤2	ヤマビル資材 マリックスター (ヤマビル駆除剤) ヒルノック・エコ (ヤマビル忌避剤)	瞬間殺蜂スプレー ハチノックL (蜂巣退治用) ハチノックS (蜂撃退携帯用)
竹駆除薬剤 クロレートS	くん蒸剤 ヤシマNCS	樹幹注入剤 打ち込み上手
松枯れ少量樹幹注入剤 マッケンジー	生分解性シート くん蒸与作シート	

住化グリーン株式会社
本社 東京都中央区日本橋小網町1番8号
大阪営業所: 大阪市淀川区西中島7-1-26
TEL: 06-6886-0241 / FAX: 06-6886-0242

緑の募金にご協力をお願いします

緑の募金は地域の緑化活動やボランティア団体への助成に活用しています。
ご協力いただく募金は、金額の多少を問わず次の金融機関へ振込をお願いします。

ご寄付の方法

- 郵便振込 (手数料無料)
郵便の場合、公益社団法人兵庫県緑化推進協会に直接お問い合わせ下さい。専用の払込取扱票用紙をお送り致します。
- 銀行振込 (振込手数料が必要)
口座: 三井住友銀行 兵庫県庁出張所 普通 3198438
名義: 公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

公益社団法人 兵庫県緑化推進協会
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18
TEL 078 (341) 4070 FAX 078 (341) 4071
URL : http://www.hyogo-green.net/

(春季募金運動期間) 3月1日~5月31日

エムシー緑化 の 林業用薬剤

ススキ ササ地に 松枯防止樹幹注入剤

フレック 粒剤10 **マツガード**

発売元 **正和商事株式会社**

大阪市中央区道修町1丁目3番4号 〒541-0045
TEL 06 (6203) 4541 FAX 06 (6203) 4347

平成29年度「安全衛生関係講習会」実施予定表

名称	実施年月日	会場	名称	実施年月日	会場
木材加工用機械 作業主任者技能講習	H29.7.13~14	姫路労働会館 (姫路市)	チェーンソー(大径木等) 伐木)作業従事者特別教育	H29. 5.18~19 H29. 7.27~28 H29.10.19~20 H29.12.14~15	中はりま森林組合 (神戸町寺前)
はい作業主任者技能講習	H29.8.9~10	姫路労働会館 (姫路市)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	H29. 6. 9 H29. 9.29 H29.11.17 H30. 1.26※	中はりま森林組合 (神戸町寺前) ※三木市で実施
車両系木材伐出機械等 運転業務特別教育	<学科> H29.9.7~8 <実技> H29.9.13~15	中はりま森林組合 (神戸町寺前) 中はりま森林組合 (神戸町高朝田)			

※ 詳細は、当支部のウェブサイトをご覧ください。 ※ 講習会は、都合により日程等を変更する場合があります。

林業・木材製造業労働災害防止協会 兵庫県支部
〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号
Tel : 078-371-0607 Fax : 078-371-7662 URL : http://www1.odn.ne.jp/hyogomokuren/rinsaibou/

兵庫の巨樹・巨木(21)

多可郡のスギの紹介

兵庫の林業(二〇一五年七月号)によると多可郡には、生野(銀山)代官管轄の天領で杉原村と呼ばれる所があった。周囲の山林に天然杉があった様である。今回はこの地域の歴史を語るスギを紹介する。

⑳ 青玉神社の大スギ(県指定天然記念物)

林立する巨スギ林の中を通過して神社拝殿に進むと、拝殿の左には大きなイチヨウがあり、左の稲荷さんの奥に、高々とそびえ、天に通じる高い夫婦スギがある。

その大きさは、幹周9.5m樹高45

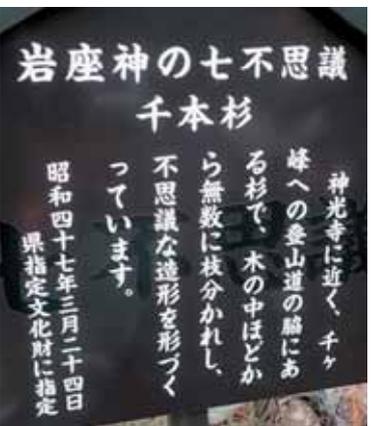


mで、根株腐朽の症状がある。この夫婦スギと一緒にと鎖でつながれている。

⑳ 岩座神のスギ(千本スギ) (県指定天然記念物)多可町加美区岩座神

岩座神と難読地名ですが、当地区は日本の棚田百選にも選ばれ、千ヶ峰(一〇〇五m)に上るハイキングコースにもなっている。

樹高が約14m、目通径が3mあり、特徴は樹高6〜7mで分岐し枝が多く出て、巨木のスギが傘をさしている様な光景を呈する。全国的にも珍しく、熊本県の阿弥陀



根は保護されています。



散水装置が機能していません。千本スギは少し水を求めています。

スギ(樹形が乱れ、今はその面影がない)との二本と言われている。今後、大切に保存したいものである。

周りのスギが大きくなって樹冠を圧迫していると考えられる。周囲の造林木の枝を切って、千本スギの枝に光が来るようにして、横に枝を伸ばしてやりたい。

㉑ 天明のスギ

当地区の造林の歴史は兵庫の林業273・274号で紹介されているので

参照されたい。そのスギ2本を見てもみよう。

多可町加美区清水の山林に残るスギである。

各地に巨木があるが、樹齢は全て推定か言い伝えしかない。正確に記録が残っているのが少ないのが現実である。天明のスギは50年生林分の中で暮らしている。

大きさは樹高35m、幹周り374cmである。



新たな巨木である。加美区のスギの巨木を紹介しました。足を運んで下さい。

樹木医 橋本光政
樹木医 宮田和男
樹木医 塩見晋一